

ニネベに対する攻撃

ナホム書2章

わたしはあなたの戦車を焼いて煙にする。つるぎはあなたの若いししを滅ぼす。わたしはまた、あなたの獲物を地から断つ。あなたの使者の声は重ねて聞かれない。(13)

絶大な力を誇っていたアスリヤも報復される時が来るとナホムは預言しましたが、この章では都ニネベが敵軍によって攻撃される様子が描かれています。

そのニネベの町は、巨大な要塞設備に守られた都市で、人々は自分たちの町が滅ぼされることなど考えられなかったようです。しかし、いかに堅固な町も主の審判を逃れることなどできません。誰も立ち向かうことなど出来ないように思われたニネベの町に対して、「見よ、わたしはあなたに臨む」(13)と主は宣言されました。神に背いて暴虐を繰り返す者たちは、必ず神による報いを受けることになるのです。そのとき、獅子のように何ものをも恐れずにこの世に君臨していた者たちが、死の世界へと葬り去られることとなります。歴史の真の支配者である主が生きておられるからです。このお方の前には、どんなに力を持つている者たちも対抗することはできません。聖書は歴史の事実を記すことを通して、この世の力を絶対視するのではなく、それらを凌駕する神に目を注ぎ、神をこそ恐れるべきことを教えています。

世の権力者たちが自分たちの力を誇るとき、その力の大きさに心を奪われてはなりません。彼らをも支配しておられる主なる神を畏れ敬う者たちでありたいと願います。